

突哨山運営協議会 2021年度 第2回協議会

2021年9月27日(月) 18:30～ 旭川市職員会館

出席者 出羽寛 黒川博義 塩田惇 舟橋健 桐一郎 尾崎良司 澤田勇
寺島一男 工藤和彦 戸波登志子
旭川市公園みどり課 笹川主査
事務局 中村直人 富岡雅志

以上 個人10名 団体1名 事務局2名 計13名

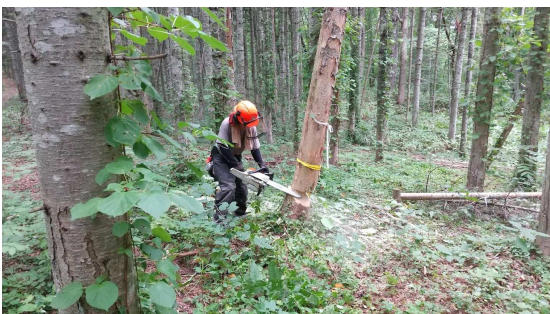
1. 報告事項

活動報告(主催・共催)と写真. 主催等の表記のないのは「運営協議会」が実施

- ・ 8月10日～12日 暴風警報発令のため遊歩道閉鎖



- ・ 6月1日～9月10日 比布町側稜線エリア枯損木処理完了



添付資料1

- ・ 9 月 14、15 日 旭川大学高校 間伐体験（未来創生コース 1 年生 39 名）



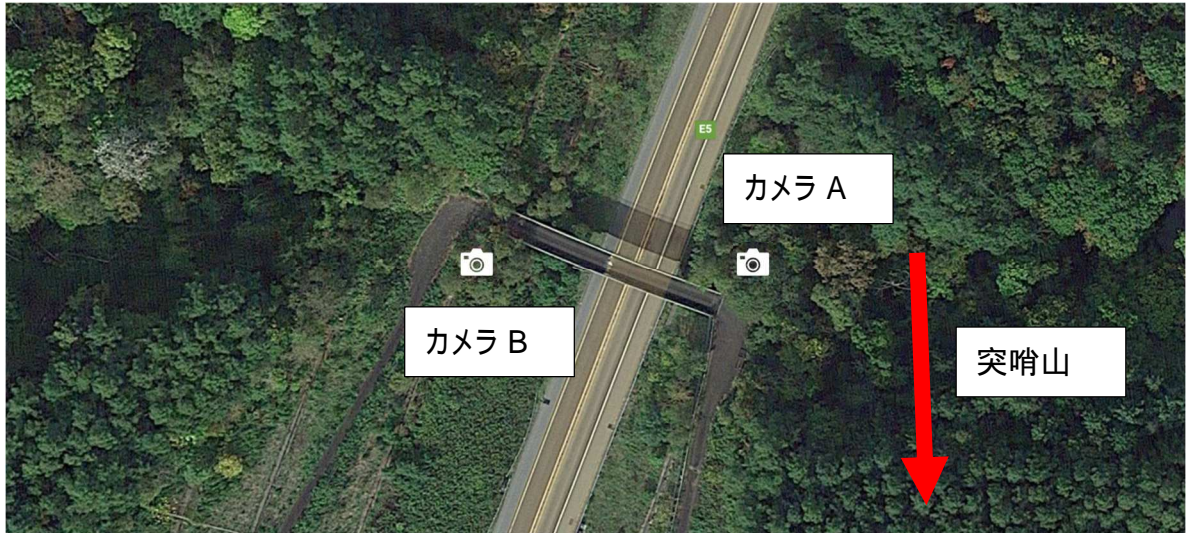
出羽 この他に活動報告ある方いらっしゃいますか。

出羽 一つ報告があるんですけども、8月16日から21日まで旭川大学に頼まれて北海道学というのをやったんですけども、これは嵐山、突哨山、動物園等でやりました。18日に大学で突哨山の歴史とゴルフ場問題市、有地になった経過を含めて話したのと、稜線を説明しながら歩いて、一度カタクリ広場に下りて昼食をとって、もう一度稜線まで上がって扇の沢に行く予定だったんですが、雨が降ってきたのと時間の問題で、直接扇の沢に行って里山部の清水くんに話を聞きました。清水くんがテントを張って焚き火をして待っていてくれて。そこで30分ぐらい学生9人に話をしました。学生が非常に感激して、相当刺激を受けたみたいです。例えば山を持っている人がいるんだけども、年齢でどうしようもなくなっているところが結構あるんです。そういうところを請け負ってやる自伐形林業という形で小規模でやっているんですが、それでもちゃんとやっていけるということをお話してもらいました。割いた木に白樺を挟んでたいまつを作って歩きながら話してくれました。一人の学生は、俺も将来山を買おうかなと言いつけたり。そういうことがありまして里山部で学生は大変いい経験をしたようです。突哨山は18日に実施しました。

ヒグマの対応について

7月5日のぴぴの路での出没以降、突哨山内でのヒグマの出没はありませんでした。したがって、ヒグマの出没に伴う遊歩道の閉鎖はありませんでした。しかし比布跨道橋では複数回にわたり往来するヒグマの姿がカメラに写っていました。

比布跨道橋のカメラ設置位置



・ 7月5日 ぴぴの路 入り 出



・ 7月7日 跨道橋 B 入り?



・ 7月7日 跨道橋 A 入り



・ 7月8日 跨道橋 A 入り



・ 7月9日 跨道橋 B 入り



・ 7 月 1 2 日 跨道橋 B 出



・ 7 月 1 4 日 跨道橋 A 出



・ 7 月 1 4 日 跨道橋 B 出



・ 7 月 1 9 日 跨道橋 B 入り



・ 7 月 2 9 日 跨道橋 A 入り



・ 8 月 8 日 跨道橋 A 入り



・ 8 月 2 4 日 跨道橋 B 入り



・ 8 月 2 5 日 跨道橋 A 出



添付資料 2

- 出羽 跨道橋付近はうろろうしているようですが、突哨山の中では確認されていない。大型と中型の2個体が確認されているということです。
これはもりねっとで設置したカメラですか。
- 中村 ぴぴの路以外はもりねっとで設置したカメラです。
- 出羽 比布町で設置したカメラはどれですか。
- 中村 添付資料2の表に設置者の欄に記載されています。跨道橋に設置したカメラは比布町ともりねっとで同じ所に設置しています。
- 出羽 これに関してよろしいでしょうか。工藤さんのところはヒグマが現れそうな気配はありますか。
- 工藤 今の所見たことはないです。

ロゲイニングのモニタリング調査について

旭川市観光スポーツ交流部観光課により9月下旬に予定されていたロゲイニングのモニタリング調査は緊急事態宣言の延長を受け、10月23日(土)へ延期になりました。また、トレイルランニング・サイクリングコースのパンフレットの再発行については10月ごろを予定しているそうです。再発行の前に再度意見交換を予定しています。

添付資料3

- 中村 本日、意見交換の日程が決まりました。9月30日15時30分から観光課にお邪魔してお話をさせていただくことになりました。突哨山運営協議会からは出羽会長、寺島さんと私で行きます。パンフレットの再発行はロゲイニングのモニタリング調査が終わってからということでした。パンフレットの再発行の前に協議会として意見交換をしてこようということになっています。
- 出羽 ロゲイニングというのは、前回も話しましたが、言葉がよくわからなかったんですが、オーストラリアの3人の発案者の頭文字を使った名前です。それ自体は他に意味がない名前のようです。大会があるんですが、スピードを競います。トレイルランの方は回る順序が決まっています。スピードを競う。ロゲイニングは順番は構わない、スマホかなんかでポイントを撮影して行きましたということにしたりします。ネットで写真を見ると相当な人数でスピードを競うんですね。時間を。突哨山とか嵐山とか大会なんかの場所には、やれないことはないでしょうけども、そういう場所ではないという感じがします。だから練習として使うんでしょうけど、最近トレランの人が結構あちこち走っています。走ることは悪くないんですが、場所との関係でいろんな問題が起こりうる。もう一つは観光とアイヌということが絡んでいるんですが、どうもアイヌ文化とかそういう問題は付け足しのような感じもあります。本当にそういう文化をめぐって歩くという本当にこれでなるんだろうかという問題もあるかと思います。そういうことを背景にしてマップができてくるので、やめてくれとは言っていないんですが、あまり我々としては素直に歓迎し辛い。ただ、そういったことに対して突哨

山も嵐山もどういう形で今の状態になってきたかということをよく理解してもらいたい。そのことを前提にして30日に3人でもう一度話をしに行ってきます。どういうことになるかわかりませんが、最終的にそういうことがあるにしても、練習に使う季節とか時期とかですね。春の間はやめてもらうとか、時間帯の問題とか、あといろいろ注意点があると思います。そういったことも含めて話し合いが必要だと思います。これに関してみなさんの印象も含めて何かありますか。30日に話し合う時に参考にしたいと思います。

工藤(和) まだコースは決まってないんですか。突哨山の。

中村 トレイルランニングのパンフレットにはコースが記載されています。村上山公園からカタクリ広場に下りてくるコースだったと思います。

出羽 そこからどう回るというのは書いてありましたか。

中村 それは書いてないですね。

出羽 他にどうでしょうか。

澤田 これは旭川市でやるんですか。

中村 そうです。

出羽 旭川市スポーツ交流部観光課ですね。

澤田 村上山は町道なんですよ。この資料を見ると突哨山のチャシとあります。ここは比布町の町道なんですよ。

中村 突哨山のチャシはサイクリングコースで紹介されていました。

出羽 例えば10人とかそういう人数で走るとか、そうすると道路脇の踏み荒らしとか、散策している人との接触とか、そういう問題もあるからおそらく嵐山にしる突哨山にしる、10人とかそういう規模で走るというのはちょっと想定しづらいのかなと思います。

中村 今も突哨山内のトレイルカメラにたまに走っているような服装の人が写っているんですけども、多くても二人です。1人かもしくは2人で走っています。今の所3人4人というのはいないです。

出羽 嵐山の下のおサラッペ川で5人というのを見ました。後ろに自転車で伴走して。それは夜でした。だいたい走る人は服装見るとわかる。ということで観光課と話し合ってきますので、またその結果をお伝えいたします。できるだけパンフレットにこちらの考えていることが反映されるように考えて行きたいと思います。

運営委員の名簿について

2021 年度突哨山運営協議会運営委員名簿の修正版を添付いたします。

添付資料 4

中村 前回、第1回協議会の時にお配りしているんですが、公園みどり課さんの担当者が変わっているということで、それを修正したものになります。変更点はそこだけです。

出羽 自分のところで修正が必要な点があれば中村さんの方に伝えてください。

比布町道道建設工事に関する覚書について

前回（第 1 回協議会）協議、確認していただいた内容で、令和 3 年 7 月 26 日付、比布町、道路管理者（現在は比布町長）、突哨山運営協議会の三者で覚書の調印を行いました。

添付資料 5

出羽 前から何度もやっていますが、カタクリ保全の問題、水路がありますんでザリガニや水棲生物の問題、垂直の水路だと上がれない、ということがありますので斜路のトラフを設置する。突哨山脇の水路にはつけてますが。そういうことを実施計画のところで検討するとなっています。最後に残ったのがノスリなんです。今年の春に中村さんに行って、どうも営巣しているようだ。相当警戒して鳴いていました。葉っぱが落ちた段階で営巣しているかどうか確認をすればいいのかなと思います。これは鳥の研究者で帯広畜産大学の先生だった藤巻さんに来ていただいて一緒に行きました。種類によっても、地形によっても違うんですが、500m くらい離ればいいのかなということもあったんですが、そう単純にはいかないんですね。道道の計画によると、この間も話したと思うんですが、測量をやります。測量のために木を切ります。比布側から突哨山まで一気にやれば営巣の時期を外すとかそういうことができるんですが、予算のつき方で一気にはずすできない。細切れになる可能性が高い。そういう問題が出てきて、単純に営巣時期を外すというふうにはいかない。その都度、工事のやり方を巡って三者で協議しながら進めてもらう。そういう形になっています。以上です。よろしいですか。

まだ葉っぱが落ちてないですね。

中村 そうですね。11月過ぎですかね。

出羽 営巣していればおそらくいろんな獲物の残渣が巣の下に落ちていると思います。

2021 年度人工林間伐について

今年度の人工林間伐対象は 2014 年度に 1 回目の間伐をしたエリアになります。10月から11月にかけて現況を確認しながら進めていきます。

添付資料 6

2021 年度間伐対象エリア



中村 資料6に今年度の対象エリアの詳細が載っています。今年度の対象エリアの広さは2.2haを予定しています。二回目の間伐になるので林況を見ながら間伐をしていこうと思っています。終わりましたらご報告させていただきます。

出羽 よろしいですか。

旭川市内で初めて確認されたラン科植物について

運営委員の舟橋健さんによる「旭川市内で初めて確認されたラン科植物について」の報告が旭川市博物館・科学館研究報告に掲載されました。

報告によると、近年過去の文献で旭川市内における確認事例が認められていなかった植物3種について、初めて生育が確認されました。このうちコフタバランおよびミヤマウズラの2種については突哨山で確認されています。

添付資料7

(2020年度 旭川市博物館研究報告第27号、旭川市科学館研究報告第16号
2021年3月31日発行)

出羽 これは舟橋さんが博物館報に書かれていますので舟橋さんからお願いします。

舟橋 観察会などで私が突哨山を歩いていて見つけたというか、私が見つけたものばかりではないんですが、たまたまあったので情報として報告させていただきました。旭川市では初めて確認されたものです。3種類ということになります。コフタバラン、コケンラン、ミヤマウズラ。「このうちコフタバランおよびミヤマウズラの2種については突哨山で確認されています。」と書かれています。これは3種とも突哨山で確認されています。2種ではないです。どれも偶然に出会ったものばかりです。コフタバランについては2017年、一人で突哨山を歩いて、花の開花時期やなどを見ていましたら、針葉樹林の下はほとんど松葉ばかりで緑は無いんですけど緑色があるなあと思って見たら、この写真にもあるように葉っぱが二つあってフタバランだなあというのは分かったんですが、実際に細かくは分からなかったんです。フタバランの仲間だということで図鑑で確認したところこれしかないとなりました。緑の花というんですか。緑の中に緑の花というのはなかなか付けてない。私自身も初めて見たものですから非常に嬉しかったと記憶しております。これは分布域につきましては北海道の南の方には無くて北側の方にあります。北海道のレッドリストの希少種になっています。それからトケンランですが、これは旭山で最初に見つけました。私は旭山もよく歩くんですが、モイワランと思われるものがまだ成長の途中だったものですからはっきり分からなかったんですね。モイワランというのは環境省のレッドリストの絶滅危惧のAだったものですから、一週間ぐらい経ってから見に行こうと6月12日にモイワランを確認するために行きました。実際モイワランだったんですが、その帰りにコケイランの時期でもあったものですからコケイランも写真に撮って帰りました。

家で写真を見ましたらこれは全然コケイランではなくトケンランだということになりました。これは北海道でも胆振地方、石狩、空知で出るランなのでなかなか見る機会がないんです。私自身も石狩市から札幌の近郊や千歳市のキウス周堤墓群ですが、ここで非常にたくさん見ていたのである程度花そのものは分かっていました。このキウス周堤墓群というのは世界遺産の縄文遺跡群になっているんですが、その関係でだいぶ草刈りなどが始まっているようなんですね。ここは素晴らしい群生があったんですけど、多分無くなってしまふんじゃないかと思います。この場所には珍しい植物が結構あって、私も何回も行って見てた場所なんですけど。遺跡があるので植物を優先して保存するのは難しいかもしれません。トケンランについては旭山で確認したものなんですけど、6月17日に突哨山で私自身確認しております。突哨山は公園の中ではなく民有地にあったんです。もう一つのミヤマウズラ。これについては突哨山と身近な自然を考える会の観察会で参観者の方がこの花なんですかという声がありまして、その場で図鑑で調べたところミヤマウズラと特定しました。これは檜山、胆振、十勝地方で確認されています。突哨山は二次林になっているんですが、針葉樹林は植林した木なんです。外国の木が植えられていますが、その下には時間が経つとそれなりに植生の分布ができるんですね。私自身歩いていてもクモキリソウですとかイチャクソウとかというのは旭山、嵐山よりも突哨山は圧倒的に多いですね。これからは間伐はされるんでしょうけど、観察路のようにたくさん切ってしまうと植物がどんどん背が高くなってしまいます。ですから間伐もペースを落とさせていただきたいと思っています。

出羽 コフタバランの写真なんですけれども、この膨らんでいる部分は子房なんです。花ですか。

舟橋 花なんです。

出羽 全体が花なんです。

舟橋 そうなんです。こういうフワツとしたものなんです。これはガクなんです。先のほうにコチャコチャと出ているのが花弁になります。今回写真を持ってきているので回して見ていただけますか。

出羽 それからこのトケンラン。うちにサギソウの鉢があって非常に綺麗なんですけど、羽根を広げた形に似てるんですね。全然種類が違いますけど。

舟橋 私は本当にコケイランと勘違いしてしまったんですけども、よく調べてみたらトケイランだったんです。

出羽 突哨山ではランは何種類ぐらいになったんですか。

澤田 私の写真に残っているので16、7ぐらいです。

出羽 この3種類を入れてですか。

澤田 この3種類を入れてです。

舟橋 このトケンランというのは旭山で最初に見つけて、突哨山にもあるという話だったんですけども、今年、旭山にはもうなくなりました。ですので

今の所旭川には突哨山にしかないことになりました。この3種類について旭川では突哨山にしか無いということでもいいのかなと思います。

出羽 このあまりない、珍しいということの意味をどういうふうにするのかということだと思いますが、昔、氷河期の遺存種と言われたミヤウチソウは突哨山にありますか。

舟橋 突哨山には無いです。

出羽 これらのランは針葉樹の薄暗い林床にあるようですね。

舟橋 このうちの2種類については針葉樹の林床に生える植物ですね。

出羽 もりねっとの間伐作業との関連は常に舟橋さんや塩田さん、澤田さんと連絡をとりながらやっていただきたいです。コウモリの方も多少考慮していただきたいです。

「カタクリの花」の歌について

先日、「カタクリの花」という歌を作った、という方から連絡をいただきました。趣味で歌手をやっている旭川市内在住の北見けいじさんという方です。北見さんによると、もともと「カタクリの花」という詩があって、それに曲をつけてもらったということです。詩は突哨山を舞台にしたものではないそうですが、曲を付けるのにあたって「突哨山に咲いた恋」という副題をつけたそうです。今後CDなどに録音するそうです。少しでも突哨山の宣伝になればという思いだそうです。

添付資料8

中村 わざわざもりねっとの事務所に訪ねて来られてこういったお話をいただいたのでご紹介させていただきました。

出羽 そのうちどこかで歌を聞く機会があるかもしれませんね。

キツネの都市生態に関する調査研究

現在、北海道大学と旭川医科大学の共同プロジェクトで、都市域におけるキツネとエキノコックスに関する調査研究が行われています。その一環として、旭川周辺地域に生息するキツネを対象に、非侵襲的手法を用いた生態調査が行われており、その調査地の一つに突哨山が選定されました。

今回の調査では、遊歩道上のキツネの糞便を採集しDNA解析により都市周辺の緑地環境の利用状況と移動パターンを明らかにする、としています。動物の捕獲や植物の採集がないことから市への申請は必要ありません。

調査の詳細については添付資料をご覧ください。

調査実施者

北海道大学大学院 理学研究院 生物科学部門 天池庸介 博士研究員

旭川医科大学 医学部 寄生虫学講座 中尾稔 准教授

旭川医科大学 医学部 寄生虫学講座 佐々木瑞希 助教

添付資料9

出羽 突哨山と春光台、嵐山、神楽岡も調べてるかな。だんだんエキノコックスの分布とキツネの生態が分かってくると思います。今エキノコックスは昔ほど恐れる必要は無くなりました。今回はキツネの糞を拾うだけですから許可は必要ありません。もりねっとで巡回の時に糞を拾う協力をする事になっています。

2. 協議事項

遊歩道案内看板の改修について

カタクリ広場口、および突哨山口に設置されている遊歩道の入口を示す案内看板について、今年度更新を予定しています。現在設置されている看板に書かれている文字は「突哨山散策路入口 A」「突哨山散策路入口 B」です。これまで数回に渡りいろいろな議論が交わされましたが、看板の設置方法やこれに記載する遊歩道の名称についてご検討お願いいたします。

これまで出された意見

看板の設置方法

・案内看板には遊歩道全体の名称と入口の方向を示し、入口の名称は別途、各入口に設置する。

例) 突哨山遊歩道

・案内看板には遊歩道全体の名称と各入口の名称を記載する。

例) 突哨山遊歩道 カタクリ広場口

遊歩道全体の名称

・突哨山遊歩道 ・突哨山自然遊歩道 ・遊歩道

突哨山口（駐車場）



カタクリ広場



出羽 今日突哨山口とカタクリ広場口の 2 箇所の看板の名称を最終的に決めたらどうかと思っています。現在は突哨山散策路入口 A、突哨山散策路入口 B となっています。今まで出てきた意見をまとめますと、突哨山遊歩道、

それから突哨山自然遊歩道とありますが、看板に関しては突哨山遊歩道カタクリ広場口、突哨山遊歩道突哨山口ですね。最終的に決めたいと思います。いかがでしょうか。

澤田 遊歩道という言葉と散策路という言葉がありますね。突哨山はどちらにするか決めたんじゃなかったですか。

出羽 遊歩道に統一しました。

今の所、案としては突哨山遊歩道、突哨山自然遊歩道、もしくは単に遊歩道でいいんじゃないかという意見もありました。前回意見を出していただいた工藤稔さんからは電話をいただきまして、お任せするという事でした。突哨山自然遊歩道という意見を出されたのは工藤和彦さんですね。

工藤（和） ただの遊歩道とするよりも自然という言葉が入った方がよりイメージしやすいというか、広報するのにいいのかなと思います。

出羽 突哨山遊歩道でも分かりますが、自然が入ると少し柔らかくなりますね。どうでしょうか。突哨山遊歩道何々口というのと突哨山自然遊歩道何々口というのと。どちらかに決めたいと思いますが、皆さんの意見をお伺いしたいです。

工藤（和） これは看板にするとときに字面というのは長くなると文字が小さくなりますか。

中村 今回堀川真さんにデザインをお願いしようと思っています。

出羽 これまであった突哨山散策路入口 A と長さはほとんど変わらないと思います。どちらがよろしいですか。手をあげてもらおうかな。突哨山自然遊歩道というのがいいと思う方。

挙手 4 名

出羽 突哨山遊歩道がいいという方。

挙手 6 名

出羽 ではこれでよろしいですか。突哨山遊歩道とします。突哨山遊歩道カタクリ広場口という表記になりますね。

中村 看板に入り口の名前はいらないんじゃないかという意見もありました。入り口の名称は別に入り口に設置するという意見です。

出羽 これはどこに建てるつもりなんですか。

中村 突哨山口に関してはホテルドレミの看板の下に設置しようと思っています。現在ある看板と同じところです。

出羽 おそらく突哨山に来る人がまず国道から入る、カタクリ広場口か、もしくは比布から来る。その入り口に何かあった方がいいのかな。突哨山遊歩道はこちらですよというのが。そこに全体図を書くのかどうかは分かりませんが。

中村 国道沿いの突哨山駐車場にホテルドレミの看板がありますよね。あそこに看板があるのは、どこから入ったらいいかわからないからだと思います。

出羽 比布側も入り口に何かありますか。

澤田 国道のレストランのところカタクリの時期だけ突哨山入口という看板を設置しています。特に村上山とかそういう名称は入れていません。

出羽 旭川側は駐車場のあたりに「突哨山遊歩道こちら」のような看板があればいいと思います。

中村 そこに突哨山口という入り口の名称は要りますか。

出羽 いらないと思います。別に各入り口に名称があればいいと思います。という形でいかがですか。

工藤（和） もう一度整理していただけますか。

出羽 国道沿いの駐車場のところには「突哨山遊歩道こちら」という看板でいいと思います。

中村 入り口のところは「突哨山口」という表記だけでいいですか。

出羽 カタクリ広場はどうなりますか。

中村 カタクリ広場にももう一つ設置しようと思っています。

出羽 突哨山遊歩道という看板とカタクリ広場口という看板と別々に作るということですか。

中村 その方がいいのかなと思います。

出羽 どうなんですかね。私は一つと考えていたんですが。

中村 以前、工藤和彦さんから「突哨山遊歩道こちら」の看板と入り口の名称は別々の方がいいのではないかという意見がありました。

尾崎 ちょっとよろしいですか。突哨山入口というのは突哨山全体を指します。突哨山入口というのは必要だと思います。遊歩道とかというのはサブタイトルというか、中に入った時のことなので最初から入り口のところに遊歩道と置く場合は正面に入るとき。例えば比布の駐車場入口とありますね。カタクリ広場もどちらかということメインですよ。この二つの入り口には突哨山入口というしっかりした名前をつけておいて、国道沿いから入る時は遊歩道入口でもいいと思います。来た人は突哨山の入り口ってどこだろうかと探します。富士山なら富士山入口とか。

出羽 そういった名称は無いんじゃないでしょうか。嵐山入口とか大雪山入口というのは無いですね。突哨山入口というのは無くてもいいと思います。

尾崎 私の意見としては比布の駐車場のあるところから入るやつは突哨山入口。カタクリ広場から入るところも突哨山入口。遊歩道はあまり分からなかったんですが。

出羽 突哨山入口にすると二重になってしまっていて分かりにくくなると思います。突哨山遊歩道というのがあれば分かると思います。あとはそれぞれの入り口の名称が付くと。

尾崎 学校を例えていうと、正面玄関、裏玄関があるんですよ。それから生徒の入り口。

出羽 表とか裏というのは無いと思います。

桐 突哨山はどちらから登ろうと突哨山なんですよ。

出羽 今の意見もあったんですが、どうも二重になってしまいます。国道沿いに突哨山遊歩道という矢印が一つあって、比布側はレストランのところから突哨山入口という矢印があって、びびの路の入口があって、こちら側は突哨山口とカタクリ広場口があって。その形でどうでしょう。

- 中村 国道沿いに「突哨山遊歩道こちら」という内容の看板を作ります。各入口に大きい地図がありますよね。そこに「カタクリ広場口」とか「突哨山口」とか入り口の名称を表示するというところでよろしいですか。
- 出羽 各入口に「突哨山遊歩道何々口」とつけるんじゃないんですか。
- 中村 そうするんですか。
- 舟橋 また蒸し返しになるのかもしれないですが、突哨山遊歩道という呼び方にするんですか。遊歩道というのは通常道のことを言うのに突哨山全体を遊歩道という呼び方にするのは。
- 出羽 遊歩道のシステムができてきた訳ですよ。それぞれ名前を付けて。ぴびの路とか。だからそういうシステムを表すのにそう言っている訳です。歩けるように。
- 戸波 これ全体を指して突哨山と言うんですね。
- 出羽 はい。
- 戸波 だったら遊歩道という言葉は必要ないと思います。
- 中村 ただ、この話が出てきた時に突哨山に遊歩道があるかどうか分からないという方が結構いらっしゃるということから始まったんです。
- 戸波 私もこの山は難解だなと思いました。何故かと言うとカタクリ広場とか言われたら、そこにカタクリの群生がバーっとあると言うようなイメージを持つんですよ。素人は。私の仲間達はカタクリ広場ってただの駐車場の名前だよと。普通の人はその言う感覚なんですよ。全体を山と言うんだったら、とにかく案内板の所まで行けば誰だって全容が見えるじゃないですか。そこまで連れて行けばいいと思うんです。そこまで行けばこう言う道があってこう歩くんだなっていう。案内板のところまで行ければいい。まず、この駐車場から行けない人もいますよ。
- 中村 そうなんです。国道沿いの駐車場からどう行けばいいの分からない人もいます。
- 戸波 だって矢印も何もありませんから。
- 中村 もしかしたらカタクリ広場には「突哨山遊歩道はこちら」という看板はないかもしれません。
- 出羽 カタクリ広場はいらないね。
- 中村 「カタクリ広場」という看板はあります。突哨山口の国道沿いの駐車場のところは「突哨山遊歩道はこちら」という看板があった方がいいと思います。
- 出羽 それはやっぱりあった方が分かりやすいね。国道沿いのところには「突哨山遊歩道こちら」という看板があって矢印があれば分かる訳だ。ただ、それぞれの入口には名前がついてる方がいいんだと思います。どこがどういう入り口かというのが分かる訳ですから。そこまで行って初めて分かるというのではなく。
- 尾崎 さっきのやつを追加なんですけど、僕の意見ですが、比布の駐車場のところは突哨山入口。カタクリ広場のところはカタクリ広場。もう一つの入るところには突哨山入口と入れた方がいいかなと思います。来た人が入って

いいのかどうか分かるように。慣れてる人はいいんですが、本州とか色々なところからくる人に、ここは突哨山なんだなということが分かるように。カタクリ広場もあるんだけど突哨山の入り口なんだなと、看板が二つあると分かりやすい。

出羽 そこに突哨山全体の地図がありますから。カタクリ広場に看板がありますから。

尾崎 初めて来た人に突哨山の入り口はここなんだなと分かるところを明示してあげた方が。

出羽 突哨山という大きい看板がありますから。それを見たら分かると思います。

尾崎 私も東鷹栖中学校に勤めた時に陸上部で走ったんですけども、ここが突哨山の入り口かどうかというのは分かりませんでした。あそこは我々帰化植物研究会でも行ったんですけども、最近看板ができたから大体分かりますが、あそこはカタクリ広場という看板があったんですけどか。こちらも突哨山の入り口なんだなというのが分かたら安心して入れるんじゃないでしょうか。私の意見ですが。

出羽 来た人が、例えば本州から来た人もできるだけ歩きやすい、そういう看板は必要だと思うんですが、あまり丁寧にしない方がいいと思うんですが。

寺島 遊歩道が分かる看板がいいのであれば、入り口だけを示す名称をつけておいたらいいんじゃないでしょうか。やっぱり入り口の名称がないと困りますね。

出羽 それがあると一瞬でイメージが湧きますね。

寺島 例えば上ですれ違って、どっちの口に下りるの、とかそういう場合には入り口の名前があった方がいいと思います。

出羽 川とか沢で何号川とか何線川とかありますが数字というのは分かりづらいんですよ。固有名詞を作っておいた方が最初は大変だけど分かっちゃうと一発で分かります。本州から来た人は最初はどうしたって分かりにくいかもしれませんが。

中村 国道沿いの駐車場には「突哨山遊歩道こちら」という看板は必要ということではよろしいですか。

出羽 もう一つ。国道沿いの駐車場に大きい全体図の看板が必要かどうかという意見は出てないですか。

中村 入り口まで行けば全体の大きな地図はあります。

出羽 いらないですか。

戸波 そこにあったら一番分かりやすいと思います。

中村 遊歩道の入り口にある大きな地図の看板を駐車場まで持って来れば分かりやすいかもしれませんが、お金の問題もありますので。

出羽 各入り口のボックスに地図が置いてありますからそれを見れば全体が分かります。とりあえず国道沿いの駐車場に矢印で「突哨山遊歩道こちら」という看板を設置する方向で行きましょう。

中村 カタクリ広場の方は今ある看板を撤去するというのではよろしいですか。

- 出羽 はい。
- 中村 そして入り口に入り口の名称の看板をつけるということですね。
- 澤田 国道沿いの駐車場に案内看板があることを何年も気づかないぐらい、我々は無くてもいいんです。現地検討会の時に、全く初めての本州から来た人の頭になって、この看板であそこに行けるかどうか見てみたらいいんじゃないでしょうか。狭いガードレールの向こうに行きなきゃ行けないんですよ。それが見えないんですよ。下手をすると間違っって男山の方に行ってしまうんです。あの道路を通過して工藤さんの方に行けないんですよ。それを行けるようにするにはどうしたらいいのか。
- 出羽 「突哨山遊歩道こちら」だけでは足りないんじゃないでしょうか。
- 澤田 分かる人は分かるんだけど、分からない人のつもりで考えないと。例えば駐車場側に矢印を置くのか、道路側に矢印を置くのか。それでも変わってくると思います。
- 中村 おそらく道路側に看板を建てるとすれば新たに市の許可を取らなければいけないと思いますが、現状の看板と同じ場所であればそのままでもいいと思うんですが。
- 澤田 じゃあそこに建てるのであればどうするか。
- 中村 看板を大きくしたらもう少しわかりやすいかなと思ってらるんですが。
- 出羽 これはやっぱり現地で考えるのが一番わかりやすいと思います。国道沿いは検討するとして、比布側とカタクリ広場口は現状でいいですね。紆余曲折ありましたが現地検討会でやりましょう。それから比布側の入り口が村上山公園口となっていますが、その名称はいいんですか。
- 中村 「村上山公園こちら」と書いています。
- 出羽 そこはいいんですか。
- 澤田 それはそれでいいんじゃないですか。
- 出羽 それでは国道沿いは現地検討会で現場を見て決めたいと思います。

2. 連絡事項

今後の予定

- ・ 10月下旬 現地検討会（昨年は10月21日（水））
- ・ 11月初旬 芋煮会
（突哨山と身近な自然を考える会 昨年は11月1日（日））

- 中村 現地検討会の日程を決めていただきたいと思います。
- 出羽 10月13日（水）突哨山口駐車場に9時集合にしましょう。
- 中村 現地検討会の時に、前回話がありました谷渡ルートから工藤さんの敷地に下りてくる道も歩いてみましょう。
- 出羽 突哨山と身近な自然を考える会の芋煮会ですが、去年はコロナの関係で餅つきとかそういうのはやめて散策だけやったんです。今年コロナは収まっ

てきてますが、会でまだ集まってないのではっきり分かりません。去年は11月1日でした。50人ぐらい集まりました。今年もおそらく歩くだけになるかもしれませんが日程は追ってお知らせいたします。

中村 ここに記載していませんでしたが、次回の協議会の日程を決めていただきたいです。12月は例年忘年会も兼ねていました。去年は会議だけ行いました。コロナの状況が分かりませんのでどうなるか分かりませんが、日にちだけ決めておきましょうか。去年は12月1日職員会館で行いました。

出羽 12月6日(月)18時30分からにしましょう。

中村 それでは近くなってからご案内差し上げます。

出羽 他に何かありますか。なければこれで終わります。

以上